

2024.06.05

オンライン講座

精神医学（各論）_6_物質関連症群_1



もりさわメンタルクリニック

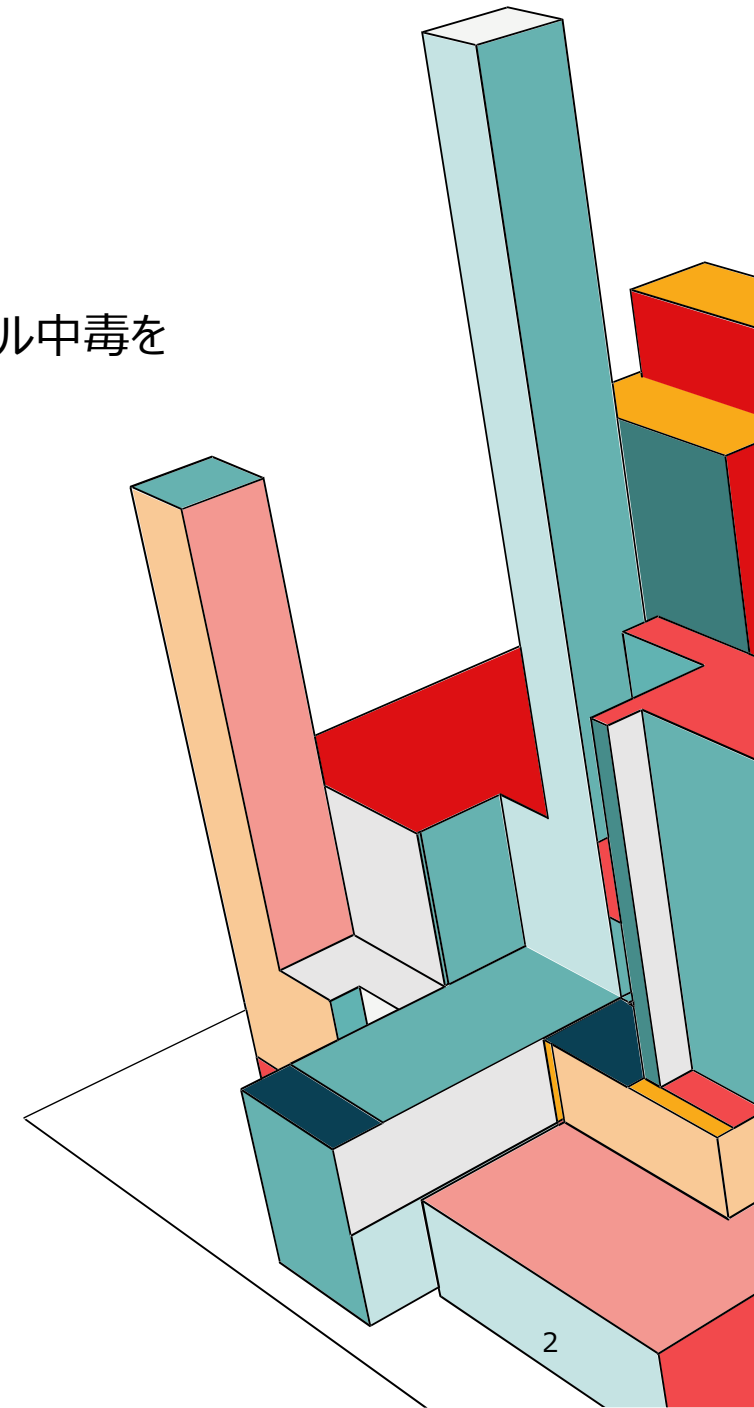
アルコール使用症

従来のアルコール依存症、アルコール嗜癖（Addiction アディクション）、慢性アルコール中毒を含む概念。身体依存、精神依存、耐性形成の3因子が基盤。

身体依存：離脱症状→それを防ぐためにまた飲む

精神依存：強迫的飲酒欲求（優先順位の混乱として現れる）

耐性形成：ますます酒量増加 閾値（いきち）が上昇



その他のアルコール誘発性精神疾患

振戦せん妄：飲酒中止後に生じる振戦とせん妄状態（小動物幻視）

アルコール幻覚症：大量飲酒後の急性幻覚症と断酒後の離脱幻覚症がある（意識清明時の幻聴が特徴）。

アルコール性嫉妬妄想：主に男性にみられ、妻や恋人の不貞を確信する状態。

Korsakoff症候群：健忘、記銘力障害、失見当識、作話（アルコール、一酸化炭素中毒、外傷など）

（参考）CAGEの質問（アルコール依存のスクリーニング）

C: Cut down 飲酒量を減らそうと思ったことがある

A: Annoyed 飲酒を注意されて、うるさく思ったことがある

G: Guilty 飲酒のことで罪悪感をもったことがある

E: Eye-opener シャキツとするために目覚めの1杯が必要

